



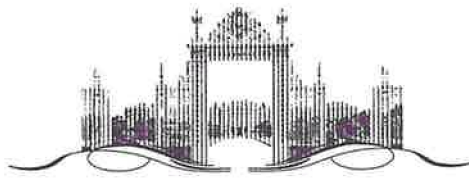
Rotary International

LEAD THE WAY

率先しよう

2006～2007年度

国際ロータリーテーマ：ウィリアム ボイド会長



Rotary Club of Tokyo-Akasaka

赤坂

東京赤坂ロータリークラブ

No.952 / 2007.5.18

例会 / 毎週金曜日12:30

例会場 / 東京全日空ホテル Tel 03-3505-1111

事務局 / 〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「これまでも、これからも 皆で築こう赤坂ロータリー」

2006～2007年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ／荒木昭文会長

●本日の例会／2007年5月18日 第975回例会

ブッフエスタイル例会のため卓話はございません。

●先週報告／2007年5月11日 第974回例会

◎卓話

『オウムとの戦い
(危機管理の立場から)』

財団法人 日本盲導犬協会理事長
第80代 警視總監
井上 幸彦氏



幹事報告：

六本木RC, 東京目黒RC, 東京五反田RCより例会変更のお知らせが届いております。後ろの掲示板へ掲示いたしますのでご覧下さい。

親睦委員会：(竹本委員長)

春の2750地区親睦ゴルフコンペの予選を突破し5月15日の決勝大会への進出をはたしました。当クラブ凄腕ゴルファー高須、岩上、尾上、鶴間、石井、竹本各選手でいどみます。次回週報へ吉報をお届けできるようにガンバります。

広報委員会：(村山委員長)

今月の「ロータリーの友」横組みP10「日本でもらったもの～人生を変えた交換学生の実験」は2007年国際協議会の講演記録で大変参考になります。ご一読を。

次年度プログラム委員長：(土屋委員長)

次年度プログラム委員長予定者として、次年度のゲストスピーカーをご紹介します。29名の方を予定しています。会員一人当たり1名の方のご紹介を期待しております。

慶事披露：

誕生日祝 / 小原 健君 (5月7日)、
伊藤文武君 (5月7日)



出席報告：

会員55名 / 出席31名・欠席24名 (出席規定免除者5名)
ビジター / 初鹿彰信 (東京南RC)、大野皓将 (東京日本橋RC) 計2名 (順不同・敬称略)
ゲスト / 井上幸彦 (卓話者)、川路利永 (敬称略)

5月 火曜会報告

今年度10回目の火曜会が5月1日、ゴールデンウィークの真只中にも拘らず参加者は15名。親睦委員長の軽妙な司会、進行により和やかな雰囲気です。今回は出席者全委員によるフリートーク『今年を振り返って』。各会員よりの近況報告と委員会活動や、今後の会員増強・職業奉仕・20周年の想い・CLP等活発な意見が交わされ、今年度最後を飾る火曜会でした。まさしく「もっともっと、親しく。もっともっと、ロータリー。」火曜会は楽しい!! 火曜会は勉強になります!! 2次会でも大いに盛り上がり皆さんお酒もすすんでいました。(竹本記)

参加者：荒木、入沢、大日方、吉岡、高須、西澤 (民)、村山、竹本、石井、早川、岩上、橋本、飯島、鶴間、椎名
計15名 (順不同・敬称略)



5月11日 / 8件 19,000円 / 本年度累計1,231,335円
多額のご寄付をありがとうございました。(敬称略)

荒木昭文 / 井上幸彦さん、本日の卓話宜しくお祈いします。高須康有 / 井上先生、本日の卓話ではお世話になります。吉岡琢磨 / 井上会長、本日の卓話楽しみにしています。ありがとうございます。吉田さん、先日はゴルフ完敗です。西澤民夫 / 井上さん、よろしくお祈いいたします。庄司さん御苦勞様です。土屋東一 / 庄司さん、ニコニコ当番ご苦勞様です。小原健 / 60歳は他の人の年齢のことと思っていましたが・・・とうとう来ました。お祝いありがとうございます。今年は特別の思いがあります。岩上義明 / 昨日の地区協議会9時から5時まで大変お疲れ様でした。庄司泰典 / 二宮さん、鶴間さん、親睦旅行の写真をありがとうございました。

第5回クラブ協議会（4月27日開催） テーマ「職業奉仕について」

1. 開会のご挨拶

会長 荒木 昭文

本日のクラブ協議会で「職業奉仕」をテーマとして選んでいただいた事由をお話します。皆様ご承知のごとく、職業奉仕という考え方は、他の奉仕団体でないロータリーならではの特徵で、ロータリーの金看板といってもいいものです。言い換えれば、ロータリーのロータリーたる所以は、この職業奉仕という考え方があるからだと言ってもよいでしょう。今年度から我がクラブはCLPを導入し、クラブの運営管理の手法を社会の変革に併せて変える第一歩を踏み出しました。しかし、CLPの考え方は決してロータリークラブの効率化を計ることのみを目的としたものではなく、ロータリーの金看板である職業奉仕を忘れたものではありませんし、より職業奉仕というロータリーの理念を大切にすることを推奨しています。

我がクラブの大先輩であられる田辺会員が、我々に教えられる職業奉仕「ロータリアンは、職業を通じて社会に貢献しなければならない」というロータリーの理念をCLP導入の現在に於いても更に大切にしていけることが、我々ロータリアンの責務であると考え、本日のテーマを職業奉仕とさせていただきます。

本日のクラブ協議会が、会員の皆様にとり有意義なものとなることを期待します。

2. 職業奉仕について

荒木会員の挨拶を受けて、四分一職業奉仕委員長から当クラブのこれまでの取り組みについて説明があった後、各会員から順次発言があった。

①渡部 一元 会員

今日のクラブ協議会は、新しい会員、若い会員が少ない。社会構造の変化、ニーズの多様化の中で、ロータリーが如何にして求心力・動員力を維持発展できるか、緊急な課題である。

高校生を対象のインターンシップをめぐる職業奉仕が話題になっているが、米国ニューヨークのロータリークラブで同じような職業奉仕を展開しているので参考までに紹介したい。地域の高校生を対象に職業補導（vocational guidance）を実施している。「働くこととは何か」、「どんな仕事があるか」、「どのように仕事を選ぶか」など、ロータリアンの豊富な体験を下に、クラスに出向いて話し合う。要望があれば、個人面談も実施する。

もう一つ。テキサス州、ダラスのロータリークラブ。地域の高校生を対象に、駅伝大会を主催している。若者の健康作り、生活の活性化を目指す。毎年実施しており、地域のイベントとして定着している。

最後に、クラブとしての職業奉仕とは別に、自分自身の職業奉仕について考えてみた。海外の大学教師としての職業を通じ、収入を得、ホテル代、旅費として使う外、何がしかの利潤を生む。しかしそれだけではない。私に必要なのは、職業に対す

る責任と誇りである。そのためのチェックポイントとして「四つのテスト」がある。私にとって、職業奉仕と四つのテストは表裏一体である。

②村山 公士 会員

技術者、教育者の立場として意見を申し上げる。

今週は福知山線事故から丸2年経過したこともあり、多数報道がされていた。同時に原子力発電所の事故



を隠蔽していたことに関しても話題になっていたし、今朝はオーチス社のエレベーターの事故の話題で持ち切りである。この他にも暖房機や自動車の欠陥の問題、パソコンのバッテリーの発火の事故など、最近、技術の信頼性が問われる問題が目立っている。

本来、職業奉仕を金看板とするロータリーとしては、きちんとした声明を出せると良いのだが、技術者個人の立場としても放っておけない心境である。何よりも、事故や故障の実体がありにも馬鹿げたことが多いことが気になる。このことに関して、最近、学生や若い教職員と接していて、なるほどと思うことがある。その一つは、機械を信じ過ぎているという点である。確かに昔に比べれば格段に信頼性は高くなったが、所詮機械であるから必ず故障するし、寿命が来る。にもかかわらず、それを前提とした取り扱いをしようとしないう上、あたかも機械が無限の頑丈さを持っているかのように乱暴に扱いき、壊れるとまるで機械の所為といわんばかりに罵る。

次に、想像力を発揮しようとしないうことである。福知山線の事故で、運転士は時速100キロならばそのカーブで脱線するかもしれないと予測しなければならない。バッテリーは急放電・急充電を繰り返すと発火するかもしれない。科学技術はそれらを予測するための学問でもあるのに、それを活用しようとしないう。

このことは、最近の若者の科学・技術離れとも無縁ではない。中学・高校の教育で理数系の科目がないがしろにされていることが問題に拍車をかけている。理数系以外の分野に進む人にとっても思考方法を学ぶ必要があり、この点を無視して進学や、入試のシステムが考えられていることの問題も大きい。さらに、こうした理数系離れが、環境や自然に対して正しく向き合えないという問題を引き起こしている。科学や技術の力で出来ること、出来ないことを正しく認識することが今一層重要性を増していると思う。私自身は直接学校で教える機会が少なくなったが、こうした視点からもう一度、特に中等教育段階における科学教育のあり方を考えてみたいと思っている。

●次週予告／2007年5月25日 第976回例会

◎卓話予定

『内部統制の考え方～今話題のJ-SOX法とは～』

中村公認会計士事務所 公認会計士 税理士
ITコーディネーター ファイナンシャルプランナー
中村 元彦 氏（東京神宮ロータリークラブ）

（紹介者 田村 昭二 君）